すべての女性が輝く明日のために

JAUW会報

第256号
2015年11月

一般社団法人
大学女性協会

JAPANESE ASSOCIATION OF UNIVERSITY WOMEN

2015年度 JAUW 全国セミナー　11月17日（土）、18日（日）　つくば国際会議場にて

もくじ

〈全国セミナー特集〉

全国セミナー…… 2
中村会長　梅田企画委員長あいさつ
基調講演　プログラム…… 3
世界の女性との連携…… 4
GWI 第32回世界大会ケープタウン　おしらせ… 5
ヒューマン・ストーリー「丸山庸子さん」… 6
本部からの報告　国際奨学・社会福祉委員会…… 7
JAUW2016・2017年度役員(理事・監事)候補者推薦依頼
支部だより　北から～南から　函館・大阪支部… 8
委員会・支部事業報告…… 9
神奈川支部・コンサート・会報アーカイブ　②
新春のつどい・自然科学講演会・事務所紹介… 10
事業委員会・理事会から

2015年度 JAUW 全国セミナー

「女性の自立とは？」～女性の自立をはばむものは何か～

日程：2015年10月17日（土）～10月18日（日）　会場：つくば国際会議場
主催：内閣府、男女共同参画推進連携会議、一般社団法人大学女性協会
共催：茨城行政相談委員協議会　後援：茨城県

会長　中村　久瑠美

本日は､｢女性の自立とは？｣と題する全国セミナーにご参加いただき、ありがとうございます。

安倍内閣は、ここ2年ほど、｢すべての女性が輝く社会｣の実現をめざすというスローガンをかかげ、女性政策に大変熱をいれておられます。しかし女性がほんとうに輝く社会を実現するためには、なんと申しましても｢女性の自立｣が実現されることが、その前提となります。

働きたくても小さな子がいて預かってもらう施設が足りない、介護する老親がいて仕事は辞めざるを得ない、男性並みに長時間労働をしないかぎり昇進はできない、等といった現実のなかで女性たちはあえぎもがいております。せっかく高等教育を受けたのだが、長く家庭に入っていたため資格もなくスキルも古びて就職口がないなど自立を目指す女性の現実は、いろいろ厳しいものがありましょう。女性の自立をはばむものはなにか？

配偶者控除の廃止を政府は検討しているが、それはどういう意味なのか？103万、130万の壁と言われてすぐ答えられますか？女性と税制、社会保障を含め、これからの女性の働き方はどうあるべきか？現実に即して話し合ってみましょう。

今年は特に、内閣府、男女共同参画推進連携会議のお力添えをいただき、協同で主催しこのセミナーの実現に漕ぎ着けました。国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業によるものです。

本日これより基調講演して下さる鹿嶋敬氏は、男女共同参画問題に関して大変ご造詣が深く「女性の自立をはばむものは何か」について、様々な問題提起を下さるものと期待しております。この二日間有意義な時間をお過ごし下さいますよう、こころから願っております。

マルイチ会発表風景

企画委員長　梅田　和子

本年度のセミナーは「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」に採択され、内閣府、男女共同参画推進連携会議、一般社団法人大学女性協会の主催でつくばにて、昨年のシンポジウムに引続き､｢女性の自立とは？｣のテーマにて開催しました。

1日目は鹿嶋敬氏をお迎えし、｢女性の自立をはばむものは何か？～第4次男女共同参画基本計画･策定に携わって見えてくるもの～｣と題し、お話をいただきました。

支部からは茨城支部、神奈川支部、静岡支部、委員会からは女性エンパワーメント委員会が今年5月より行っている「めげないわたし」養成講座開設の趣旨、経過報告及び受講生による感想、また「マルイチ会」による「シングルを生きる」と題する発表を行いました。

2日目は税理士長沼会員の「配偶者控除について考える」の講話、共催の茨城行政相談委員協議会による「行政相談と女性の社会参画」の講演、その後分科会①「考えよう！女性と法律・社会通念」②「どうする？ 女性と税制・社会保障」③「これからの女性と仕事」に分かれて討議を行い午後からは中村会長をコーディネータに分科会チーフの中島会員、仲田賛助会員、松本理事、マルイチ会より吉川氏、佐野氏､松村理事による6名のパネリストでパネルディスカッションを行いました。

今年は広く一般にも呼びかけ、30名を超える会員外の参加を得たことは嬉しいことでした。

みなさまのご協力に感謝いたします。

会長を囲んで

基調講演「女性の自立をはばむものは何か？～第4次男女共同参画基本計画・策定に携わって見えてくるもの～」　一般財団法人女性労働協会会長　鹿嶋　敬

現在、第4次の男女共同参画基本計画を策定中で、これは男性中心型社会の変革というものを中心に据え、セミナーのタイトルである「女性の自立」と絡む問題でもあるのでその中で見えてきたもの、さらに女性活躍推進法が制定・施行になったこともあり、この二つを絡めながら話をします。

1985年に男女雇用機会均等法が制定され、86年に施行。この前身は72年度に制定された勤労婦人福祉法で、女子労働者の福祉の増進に関する法律が均等法だった。

その後、2回の改正があり、第1回の97年改正99年施行で、「福祉の増進」というタイトル名が外れる。また募集・採用・配置・昇進が努力義務規定だったが、それも禁止規定になった。次の2006年改正女性差別禁止法という片面制が解消して、男女差別禁止法になり、そして今年の女性活躍推進法の制定で、ようやく女性が法律上でも一人前になった。

しかし女性の管理職はまだ1割で、何が女性の自立をはばんでいるのかということを考える上で、平成27年版の労働経済の分析を見ると、地方では保育所の有無、親との同居、男性の家事分担などが子育て世代の女性の有業率にプラスになっているが、都会では長時間労働、通勤時間の長さにより、女性が働きづらくなっている。また親との同居も都会ではプラスに働いていない。これは親世代に固定的性別役割分担意識の問題が大きいからではと思われる。

夫は外で働いて、妻は家庭を守るべきだということに、2014年度の内閣府の世論調査で、男性46.5％、女性43.2％の支持があり、シンデレラコンプレックス世代の20代、その夢が破れたであろう30～40代は革新の世代であるはずなのに支持率が高い。夫の収入が厳しい状況が長く続いた影響ではないかと推測している。

ようやく女性活躍が主流化してきた。主流化とはあくまで手段であり、ではゴールがなにかと言えば男女共同参画社会の形成であることを認識すべきである。　（梅田和子）

―詳しくはセミナー報告書に掲載します―

全国セミナープログラム

	総合司会	牧島悠美子（茨城支部会員）
10月17日（土）		
13：00	開　会	縄田真紀子（副会長・実行委員長）
13：05～13：15	主催者挨拶	中村久瑠美（大学女性協会会長） 酒井香世子（内閣府 男女共同参画局 政策企画調査官）
13：15～14：45	基調講演	鹿嶋敬　・一般財団法人女性労働協会会長 ・内閣府男女共同参画会議議員 「女性の自立をはばむものは何か？ ～第4次男女共同参画基本計画・策定に携わって見えてくるもの～」
14：45～15：00	～　休　憩　～	
15：00～16：30	①支部発表 茨　城支部：「対話から学ぶ　これからのワークライフバランス　～茨城大学連続出前教室実践報告～」　井坂美子 神奈川支部：「女性の活躍のため、大学女性協会が提言できることは何か」　丸山若重 静　岡支部：「女性の自立～世界の女性と連帯し、世界と地域を結ぶ～」　鍋倉伸子 ②委員会発表　女性エンパワーメント委員会：「めげないわたし」養成講座 城倉純子（委員長）　中曽美穂子（受講生）	
16：30～17：00	マルイチ会発表　「シングルを生きる」　吉川愛美、草野裕子、稲葉幸枝	
10月18日（日）		
9：30～10：00	講話　「配偶者控除について考える」	長沼早苗（税理士・茨城支部会員）
10：00～10：30	講演　「行政相談と女性の社会参画」	小野勝久（茨城行政相談委員協議会会長） 今髙博子（茨城行政相談委員協議会副会長・茨城支部会員）
10：30～10：45	～　休　憩　～	
10：45～12：30	分科会　①「考えよう！　女性と法律・社会通念」 ②「どうする？　女性と税制・社会保障」 ③「これからの女性と仕事」	チーフ　中島美那子（茨城支部会員） チーフ　仲田　章　（賛助会員） チーフ　松本由美子（理事・茨城支部会員）
12：30～13：30	～　昼　食　～	
13：30～15：45	パネルディスカッション　「女性の自立支援を考える」 コーディネータ：中村久瑠美 パネリスト：分科会チーフ　マルイチ会（吉川愛美、佐野康子）　松村和子（理事・神戸支部会員）	
16：00	閉　会	梅田和子（副会長・企画委員長）

世界の女性との連携

ベトナム奨学賞の経緯と現状

新潟支部長　高橋　令子

大学女性協会新潟支部は、NPO法人新潟国際ボランティアセンター（NVC）と、ホーチミン市のStudent Assistance Center（SAC）を通じて、ベトナムの女子大学生に対する支援を1999年以来継続してきました。支援額は、年間1人1万円です。最初の3年間は、対象者は1名でしたが、2013年以降は年間5名に枠を広げ、2015年度末までには、のべ52名に対して奨学金を贈ることになります。

1999年当時、日本円1万円は、ベトナムでは大学の授業料のほぼ1年分に相当すると聞きましたが、その後何年も経過し、少額ではないかという意見が出されました。しかし、これに対するSACの意見は、「地方からホーチミン市に出てきた学生にとっては、1万円は大変価値のある金額です。増額するなら人数を増やしていただきたい。」とのことで、そのままに継続しています。

2013年3月、当支部会員達でホーチミン市を訪れ、当時の奨学生と、最初の奨学生グエン・ティ・ロイさんと懇談し、その後一緒に近くの大学を見学する機会を持ちました。ロイさんは、現在、日系企業に勤務し、昨年より新しい奨学金のスポンサーとなり、将来は仲間を増やしていきたいそうです。「金額よりも志が嬉しい。」とのロイさんの言葉が印象的でした。私達の蒔いた種が、この様に花を開いて嬉しく思います。

ホーチミン市の大学を訪問

世界と、静岡の地と

静岡支部　鍋倉　伸子

静岡支部では、シンポジウム「女性の自立　―世界の女性と連帯し、世界と地域を結ぶ―」を9月26日に開催しました。足下のことも大事ですが、遠く世界の現状を知り、世界から日本を眺めることも大事ではないかと企画しました。本部理事の鷲見八重子さんは国連第3委員会で日本を代表してステートメントを述べられ、鷲見さんの国連レポートが大変興味深かったので、静岡の人たちと共有したいと第1部基調講演をお願いしました。鷲見さんはステートメントで「女性の地位向上」の項目について、安倍首相が約3000億円の支援、さらに3兆円の支援を申し出たこと、また国内政策については、①男女が共に仕事と子育てを両立できる環境整備　②女性支援促進の優良企業のバックアップ　③女性のdecision makingの場　政治・行政への参画を2020年までに30％にすると表明したということ、さらに日本の課題として、2013年ジェンダーギャップ指数が105位、政治でのジェンダーギャップ指数118位というお話をされ、「紛争下での性暴力」「児童婚の弊害」などが参加者に強いインパクトを与えました。

第2部は地元の3人の方、政策決定の場に女性を送るための活動を長年続け、多くの女性議員を出して来たSUDACHIの会（富士市）の平野久子さん、女性が中心になって設立したNPOで、団体・企業・行政をつなぐ中間支援など幅広く柔軟な活動をしてきた浜松NPOネットワークセンターの大野木里美さん、離婚する人へのワンストップサービスを目指して離婚女性への聞き取り中間結果を冊子にまとめられたシングルペアレント101の田中志保さん（静岡市）の報告でした。

意見交換と支部での話し合い、本部セミナーを踏まえ①クオーター制の導入②離婚後の子供の養育費の確保について関係機関に要望書を提出しようと考えています。

ケープタウン総会を楽しもう！

牧島　悠美子

来年の8月、第32回GWI（旧IFUW）総会が南アフリカのケープタウンで開催されます。今回は新形式での総会になるようですが、遠いアフリカでの総会を楽しみませんか？

これまで、IFUWではIFUW主催のツアーが総会の前後にいくつも計画されてきました。このツアーに参加して他国の方々との交流を楽しみにしている会員もありますが、会議以外ではゆっくりと日本語で楽しみたいという方も少なくありません。そこでJAUWでは毎回、旅行代理店などに依頼し、JAUW単独のツアーを企画し、多くの会員が楽しんできました。3年前の2013年のトルコ・イスタンブール大会では、会議後にカッパドキアなどへ5日ほど、2010年のメキシコ大会では会議後3日ほど、2007年のマンチェスター大会でも。2004年のオーストラリア・パース大会では会議後1週間～10日の大陸横断の旅で、シドニーまで。途中ウルル（エアーズロック）での滞在を満喫しました。総会での真剣な話し合いの充実感後の旅は解放感に満ち、新たな友人との出会いもあり、とても楽しいものでした。今回もなかなか行けない場所での総会でもあり、その総会にプラスして南アフリカの旅も大いにエンジョイしませんか？

GWI第32回世界大会ケープタウン

めざそう！　女性と女児のエンパワーメント

～教育・ジェンダー・人権の十字路に立って～

多くの声を結集し活動を深めて、女性の力の向上を！

キャサリン・ベル GWI 会長からのメッセージ

大卒女性インターナショナル（GWI）会長として、また南アフリカの一市民として、皆様を2016年8月にケープタウンで開催される第32回総会にお招きできるのは光栄の至りです。初の総会が開かれたのは1920年、当時は学卒女性の数も少なく、女性の地位向上と教育が必要とされた時代でした。時代を経て、女児や女性の教育は普及してきましたが、世界では新たな課題が日々生まれています。それ故にこそ GWI の存在する意義があり、女児や女性の力をつけ向上させるための良質の教育を提唱し、草の根のグループと協働して計画を練り上げ、幅広い会員や世界中の人々に情報を発信していくことが必要なのです。

教育、ジェンダー平等、人権擁護を求める旗印の下、会議では出席者の誰もが興味を見出せる様々なプログラムの提供を目指すと同時に、ネットワークを構築し、女児と女性の教育の向上を促す仲間づくりの機会となることも願っています。大義を目指してより多くの声をあげ、活動を深めることが、私たち女性の力を強めることになりましょう。

一人でも多くの方がこの会議への早期参加申込の特典を受けられることをお勧めし、ケープタウンでお会いすることを楽しみにしています。

勇気と偉業の歴史、新たな出会いと非日常的な憩いが待つケープタウンで会いましょう

南ア大卒女性協会会長　イダ・ムレンガ博士

南アフリカ大卒女性協会はケープタウン（コサ語でイカパ）での第32回GWI総会の開催を心から嬉しく思います。ケープタウンの歴史には勇気と冒険と数々の偉業が刻まれています。27年ものあいだ収監されていたネルソン・マンデラ氏が釈放されたとき、集まった大群衆を前に第一声を発したのもケープタウンでした。勇気と偉業の精神こそは全世界の人々の生活の向上をめざして、女児と女性の生涯教育を実践するためGWI総会が推進しようとしている精神でもあります。

ケープタウンは、テーブル・マウンテン、シグナル・ヒル、ライオンズ・ヘッドなどの世界有数の景観や美しい浜辺に恵まれ、美味なワインや植物探索やホエールウォッチングも楽しめます。さらにまた、蘭、独、仏、インドネシアの伝統的建築様式が融合したケープ・オランダ様式の建造物も見落とすことはできません。

GWI総会は、アイディアを出し合い、新しい計画を立案する場であるだけでなく、出会いと知見を広げるまたとない機会でもあります。日常のルーティンを忘れ、心身をリフレッシュする好機でもあります。ぜひケープタウンへお越しください。

2016年8月21日～23日　会員総会（会員限定）
8月24日～26日　一般公開会議：講演、学際（ID）セミナー、ワークショップなど
★各国から多くの参加が見込まれます。日本からの発表も大歓迎です。
★セミナー、ワークショップ、ポスター発表　応募（アブストラクト提出）締め切り：2016年4月15日
★登録費7,800ランド（約7万円・学割あり）早割り期限：2016年5月31日
会期中に多くの現地ツアーがあります。GWI の HP をご覧ください。
その他、詳細は http://gwiconference.org/ 参照。順次、JAUW の HP にもアップされます。

会員総会と一般公開会議のスケジュール

（注：2015/10/24時点で発表されている暫定案です）

8／21　会員総会開幕
8／22　会員総会・ケープ半島観光（全日）
8／23　会員総会・ケープタウン市内観光（半日）／南アフリカの夕べ
8／24　一般公開会議は基調講演後、4つのテーマごとに、セミナー、ワークショップ等多彩な企画が26日まで同時進行します。
～26　テーマ1：複雑な教育課題の管理　（例：「学び手主導の学習」26日）
テーマ2：新技術の影響　（例：「教室でのソーシャルメディア」25日）
テーマ3：人権と教育　（例：「メディアと人権教育」24日）
テーマ4：暴力と教育へのアクセス　（例：「CEDAW ほか国際規約～その影響と現実」25日）

★ID セミナー、ワークショップ、ポスター発表は1～4いずれかのテーマに限られます。応募者はご留意ください。

ヒューマン・ストーリー　第3回

JAUW 元会長　丸山　庸子

丸山庸子様のこと　　前会長　阿部 幸子

丸山庸子様は、一貫して女性の地位向上を願い、問題意識を持ち続けられた方です。大学婦人（女性）協会に入会されて、会員と問題を共有しながらその解決にリーダーとして力を発揮されました。国際人権規約完全実施促進連絡会議を中心メンバーとして支え続け、小金井市の婦人問題会議議長として市の男女平等条例作成などにも尽力されました。丸山様は、必要とされる場で常に積極的に関わられ、まさにリーダーシップを発揮して活動を続けておられます。

丸山庸子様を囲んで（広報委員会）

Q１．JAUWに入会されるまでの間、何をされていらっしゃいましたか？

生まれは北海道十勝郡。父の仕事の関係で、小学校4年生から女学校の3年生位まで樺太で過ごし、特に豊原市での寮生活は大変楽しく、今でも印象に残っています。

帰京後、進学した女子高等師範学校は卒業後教鞭をとる義務年限があり、中学生に社会科を教え、大学院にも籍を置いて哲学の研究も進めていました。もともと啓発活動も考えていて、近隣に男女10数名の「若人の会」があり、会運営を任されたりしていました。29歳で結婚しました。

Q２．何を期待されてこの会に入られましたか？

島美喜子さん（元 国外奨学委員長）に入会を誘われ、東京支部長をと頼まれたのです。女学校時代の友人で私は彼女を信頼していました。その頃東京支部長は、主な構成女子大から回り持ちで出す慣例になっていた由、副支部長は二人とも既に決まっていて大変よい方ばかり。それでご一緒に協力させて戴きましょうかということになりました。

常々期待していたのは、女性の地位の向上、社会的にも個人的にもです。のちの男女共同参画（平等）社会ですね。

Q３．JAUWの活動を通して今までで一番手ごたえのあった出来事は？

国庫補助事業の企画でした。そしてその事業の出来映えだったと想起されます。その都度時勢に合ったテーマを決め、支部の皆さんの努力で実効性のあるよい決議に纏めることが出来たときは、本当に嬉しかったものです。稀に決議がまとまらず理事会で纏めたこともありました。

「開発教育」を手掛けた年の報告書が嵐山の国立女性教育会館のウィンドウに暫く飾られていたのを、何人の方がご覧になったでしょうか。「環境教育」セミナーのあと大気中の過酸化窒素の量を測定し続けた支部。「国際理解と協力」のあと、外国人弁論大会を今もって続けておられる支部。多くの会員の方々が私はここで育てられました、と仰るのを何度も耳にしました。

※全国セミナーについては、JAUWのHPアーカイブ、セミナーシンポジウム PDF「改めて高齢者問題を考える」を参照ください。

Q４．小金井市の活動は如何でしたか？

平成7年小金井市の男女共同参画室の一人に加えられ、会運営を依頼され、早速近県に先駆けて男女平等都市宣言を出そう、ということになり作成しました。下案は私が書き、委員の皆さんの意見も得て市議会に渡し、殆どそのままの形で小金井市庁舎の玄関脇に今も掲げられています。

平成13年から15年、同市の男女基本条例と行動計画の策定委員を務めました。その後は夫の病後のケアーもあり引かせて頂いていました。平成25年1月、突如、男女共同参画室を市民課へとの組織改正案が提出されましたが、私たちと同時代の委員たちが結束して立ち上がり、この改正案を廃案にすることができたのでした。（女性展望4-2013）

Q５．男女共同参画社会、どのように変化してきましたか？

北京会議以後ジェンダー平等の意識が、特に男性の問題としても受け取られるようになってきたことが、大きな変化だったと思います。「203050」※は日本としてはハードな目標ですが、世界の趨勢を追い風に頑張らねばならないと思います。それには男女共に社会的に自立する教育を心身ともにもう少し着実に、しっかりと根付くものにしていって欲しいと願っています。

※第59回国連女性の地位委員会で、「2030年までに完全な男女平等を実現しよう」との政治宣言が採択され、2030年迄にジェンダー平等（50-50）の実現を目指しています。

Q６．これからの JAUW に何を期待されますか？

男女共同参画社会の進展です。それと共に男女双方とも労働条件、特に非正規労働への対策について根本的な見直しをして欲しいと思っています。そして国際的平和問題、原子力とエネルギー問題、環境問題等々に、絶えざる関心を抱き続け、今回の女性エンパワーメント委員会の経験を基に、人材育成を考慮に入れた年次セミナーを行うなど、息長く、弛みなく続く努力を重ね、良識ある民主的、国際的市民の育成をめざして欲しいと思っています。

新しい方が入られたら、ご自身がしたいと思われる事項に結びつく委員会に入って、共に行動することを始められるよう求めます。

―― プロフィール ――

1927生　小学生 - 女学校時代樺太で過ごす
1943　帰京・桜蔭高等女学校 転入学
1949　東京女子高等師範学校（化）卒業
1953　東京大学文学部（哲）卒業
1979　JAUW 入会
1980－1982　東京支部長
1993　小金井市婦人問題会議参加、議長
1996－1998　JAUW 会長
「大学婦人協会五十年史」作成、故守田純子氏より本協会へ遺贈を受け守田科学賞設立に尽力、事務所移転のための募金（不足分）を実施、戸山マンション売却、信濃町へ移転などにかかわる※「大学婦人協会史」（1996年4月～2006年3月）を参照ください。
2006「文部科学省社会教育功労者」受賞

女性の地位、NGO、国際人権関係、諸委員会等において現在活躍中。

本部からの報告

国際奨学生のお知らせ　国際奨学委員長　廣田　里子

前号で紹介した奨学生の研究報告会開催の案内です。

日時：2016年1月23日午後1時30分～16時30分

場所：アルカディア市ヶ谷

報告者：ニーナ・S・デンベコーバさん（ブルガリア出身）

レーナ・E・エーロライネンさん（フィンランド出身）

問合せと申込：本部　事務所　Tel 03－3358－2882

ニーナさんは、母国ブルガリアの黒海沿岸で、カキやホタテなどの水産養殖に甚大な被害をもたらしている有害有毒微細藻類の検出方法など、モニタリング技術の確立を目指した最新の技術研究について報告します。今回は、ホストの長井敏グループ長（国立研究開発法人水産総合センター）にもご出席いただき、ニーナさんの報告を丁寧に解説してくださいます。名前だけは知っていても、実状に触れる機会の少ない黒海について、直接、興味深い情報を得るいい機会になると思います。

一方、レーナさんは、怪奇映画の作者、黒沢清監督の作品と、戦後70年の間の映画に見る社会的怪物の緒相について、日本語で報告します。高校生のころ、交換留学で10カ月の滞日経験をしたレーナさんは巧みな日本語を操るエネルギッシュなフィンランド女性です。子どものころ、叔父さんから「研究者に」と勧められたこと、日本のゲームに無我夢中だったこと、だれもが取り組む英語は避けたいと思ったことなどが日本研究への道に繋がったそうです。

ニーナさん

レーナさん

みなさまのご出席をお待ちしています。若く、篤い情熱溢れるお二人との交歓もお楽しみください。

「新生会」を訪ねて　社会福祉委員長　児林　栄子

2015年6月30日社会福祉委員10名で、群馬県高崎市中室田町の高齢者施設「新生会」を訪ねた。特別に用意されたバスで、事務部長、入居者である友人、群馬支部の方々に安中榛名駅で迎えられ、予想外の交流となった。

「新生会」は1938年原正男氏によって結核保養所として創設され、阿蘭陀、英国への留学を終えて1974年帰国された現理事長原慶子氏に引継がれ、二万坪の敷地に養護老人ホーム・特別養護老人ホーム・経費老人ホーム・有料老人ホーム（ペット共生可）・ボランティア研修生宿泊施設等を備える。原先生が「文化としての福祉の創造」を提唱されるだけあって、館内には多くの美術品が飾られ、明るく清潔で、まるでホテルの様。入居者はそれぞれのニーズにあった施設を終の棲家に選び、満足し生活しておられるようにお見受けした。今日、福祉事業をビジネス化しようとする風潮がある中、キリスト教精神に基づき、福祉本来の使命を目ざして活動されているお姿に敬服した。

JAUW2016・2017年度役員（理事・監事）候補者推薦依頼

正会員のみなさまへ　　役員選考委員長　岩村　道子

秋も深まり冬の足音が聞こえる頃となりました。JAUWでは今年もセミナーやワークショップ、そして各支部主催の種々の催しなど、多彩な活動が行われてまいりました。ご参加くださった会員の皆様はもちろんのこと、会報でその報告等をご覧になった皆様も、時代を先取りするJAUWの活動に感動なさったことと存じます。

さて、2016年度定時会員総会の終結をもって、JAUWの司令塔である理事会の現理事および監事の任期が満了になります。次期2016・2017年度の理事および監事は、定款第22条に基づき次期総会の決議により選出されます。役員選考委員会は「役員選考委員会に関する規定」に従って、正会員の皆様に役員候補者の推薦をお願いし、その選定結果を会長および理事会に報告いたします。つきましては、全正会員の方から次期役員候補者のご推薦をいただきたく、お願い申し上げます。その際、本会報に同封の役員候補者推薦関係の書類（①から④）をご利用ください。

① 次期役員候補者推薦用紙：1～18名（自薦・他薦は問いません）
② 別表１および２：理事の役割分担　および　次期役員としての推薦が無効となる会員の氏名リスト
③ 支部別　正会員名簿
④ 返信用封筒：①の用紙にご記入の上、恐縮ですが82円切手を貼って2015年12月15日までにご投函ください。

会員の皆様のご協力、とりわけ役員候補者を推薦いただくことが本協会の活動の基盤となります。

お忙しいところ恐縮でございますが、よろしくお願い申し上げます。

支部だより　北から～南から

北海道新幹線開業を期待して　函館支部長　島本　美枝子

Q　最近の支部の活動は？

A　2015年は、日本中が異常気象に振り回され落ち着かない年でした。函館は北海道の中では比較的穏やかな地域で、今までは大きな台風を免れていたのですが、今年は数回の嵐に見舞われました。また一方では、安保法案の採択やTPP協定の合意など、日本が未来に向けて大きく舵をきった年でもあったように思います。

函館支部は現在、60代から90代までの6名で活動を続けています。日本の現状と同じく、私どもの支部も高齢化ではありますが、皆さん元気に日々を過ごしています。例会は2か月に1度昼食を共にしながら、折々の社会の動きや近況などを話題に、和やかな雰囲気で開催しております。最近の話題としては、来春に予定されている北海道新幹線の開業とそれに伴う函館の将来像についてです。

Q　ご当地自慢・支部自慢は？

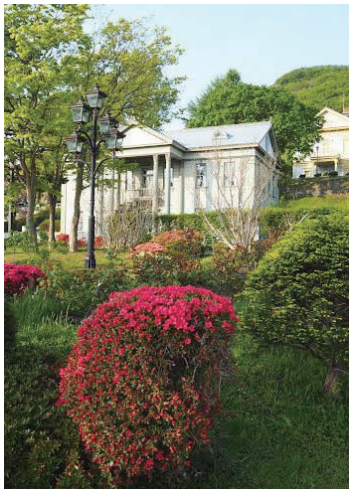
A　函館はご存じの通り、異国情緒あふれる街並みと、函館山山頂からの夜景の美しさなど、観光資源に恵まれており、近海からの豊かな恵みもまた、訪れる観光客の皆さまから高い評価をいただいております。

近年、函館空港に中国や台湾などから直行便が就航し、アジア諸国からも、たくさんの人々が来函されるようになりました。

北海道新幹線は残念ながら函館駅には乗り入れが叶わず、近隣の北斗市が終点駅となります。このため乗り換えが必要となり、函館にとっては喜びも半分といったところです。また、東京から4時間という時間をクリアするために、北関東は大宮駅のみが停車駅となります。様々なアンケートでも北関東から北海道に旅行をしたいという意見が多い中で、この決定もまた残念なことです。

Q　これから力を入れたいことは？

A　北海道新幹線開業を契機に、より多くの人々に函館を訪れていただくよう、今後は東京オリンピックではありませんが、「おもてなし」の心を大事に育てていかなければと思っております。



元町公園

会員各自ができる事の結集　大阪支部長　竹之下　美佐子

Q　最近の支部の活動は？

A　本部の取り組みテーマに基づき例会事業を展開しています。他団体でも活躍している会員からの情報や講師の紹介などもあり、各自が出来る事を出し合い、事業を運営しています。会員の同窓会会議室を例会に利用させていただき感謝です。

〈働く女性を取り挙げた例会講演として〉

①航空自衛隊幹部候補生学校教育部3等空佐（防衛大学校女子一期生）による「自衛隊における男女共同参画の歩み」

②タイ国大阪総領事館・副領事による「タイにおける女性の地位」

③母国中国では子育てしながら英語教師として働き、現在大阪大学の研究員の方による「中国の働く女性の姿」

④大阪支部で「女性の自立―女性と仕事―」について紙上インタビューを作成し回答依頼中

また2014年国際奨学生のシニヤ・タヤさんが（タイ・チェンマイ大学）大阪市立大学に研究生として来られた時にお世話でき研究発表を聞けた事はいい経験でした。会員相互の研修として昨年は京都の新島旧邸を、今年はNHK放送90年ドラマで放映された小林一三記念館を訪問。

Q　ご当地自慢・支部自慢は？

A　大阪城は勿論の事、日本最大の前方後円墳（仁徳天皇陵）、昨年春、竣工された日本一高いビルと眺望を誇る「あべのハルカス」、またその北側に佛教最古の「四天王寺」、南方には、樹齢1800年の神木が聳える「住吉大社」があります。年10回の例会に6名程は皆勤！コア（核）の部分でのまとまりは良く、各自の役割をこなしています。また年一回の「大阪支部だより」発行により不参加の人にも活動報告しています。

Q　これから力を入れたいことは？

A　使命感を持って充実した活動をなさっていた先輩諸姉はご高齢となり、若い会員の確保の必要性を痛感します。来年度の役員選出も心配です。会員数一割拡大に力を入れないといけないと思っています。

2015年１月　新年会にて

委員会・支部事業報告

多文化共生社会を考える No3
「グローバル時代の私の隣人～外国人労働力の現状と日本人の意識～」

8月29日に標記の公開講演会とワークショップが神奈川支部主催東京支部共催により、かながわ県民活動サポートセンターで開催された。参加者は会員16名、一般10名。講師は松本基子氏（元アジア福祉教育財団難民事業本部難民相談室長･大和定住促進センター所長）。講演「労働力不足の日本へ外国人を迎える事にあなたは、賛成？反対？」では、NHK のクローズアップ現代「アジア労働者争奪戦」の録画の一部を見た後、松本先生が複雑な外国人問題について穏やかな語り口で説明された。韓国、台湾と比較した日本の受入体制､「技能実習生」と言う在留資格、滞在期間の違い、さらに日本はこれから世界の優秀な人材獲得競争にどのように対応するかなどの知識と考えが深まる内容であった。

後半のワークショップは3グループに分かれた。①外国人労働者のイメージ②希望する日本の将来像③その他をポストイットにそれぞれが思いつくまま書き込み、その纏めた結果を白板に発表した。コーディネーターの山瀬会員の豊富な経験により、このような講演会が2013年より毎年継続している。一般の方の感謝のお便りの中から抜粋を紹介する。「日頃は学ぶこともない平々凡々の暮らしをしておりますので、皆さまの熱意溢れる問題への取り組みを拝見拝聴して、とても刺激を受けた時間でした。ありがとうございました。」

欧州が難民問題で困難の極みに直面している現在、私たちが外国人について議論することは、まさにタイムリーな社会貢献活動となった。　（神奈川支部長：市川知恵子）

世界の名曲コンサート（協力（公財）東京フィルハーモニー交響楽団）

事業委員会

11月10日に古賀政男音楽博物館けやきホールにおいて東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター近藤薫氏とピアニスト魚谷絵奈氏により「世界の名曲コンサート」が開催された。第1部はエルガーの「愛の挨拶」、クライスラーの「愛の喜び」「愛の悲しみ」。ヴァイオリンとピアノの絶妙なハーモニーに聴衆は酔いしれた。中村会長のご挨拶の中で「見て良し、聞いて良し」は、まさに名言であった。東京フィルハーモニー交響楽団の広報渉外部部長の松田亜有子氏の魅力あふれるトークが更に音楽への理解を深めた。ピアノソロのショパン､リストは心に残るメロディーであった。第2部のブラームスのピアノとヴァイオリンのためのソナタ第2番イ長調作品100では、完璧なまでに美しい音色を存分に楽しめた。満足な笑顔の皆さまから次のコンサートが待ち遠しいと言われた。　（CI）

JAUW 会報アーカイブ　②　―国際奨学事業のルーツ―

広報委員会

国際奨学事業は、1987年に行われた募金活動による寄付金が基金となっています。その際の「募金のお願い」（会報146号）に「外国からの IFUW の会員である研究者に、我が国の大学・研究所などでじっくり研究していただくための奨学金を支給する事業を行っており、1970年からすでに20名の方々が来日され成果をおさめている」とあります。それを手掛かりに、今回は国際奨学金の前身とも言える国外奨学金について、探ってみました。

国外奨学金規定は1968年、今井よね氏（元副会長）のご遺産による「記念奨学金」の創設に際して設けられています。それに従い、翌年の‘69年にはニューギニアの未開発民族シシミンの研究を現地で行っている畑中幸子氏が､さらに'70年には、人間の背骨の発育状態の測定から人種の特色を定める､という研究をしているドイツのDr.マッツドルフ氏が奨学生となっています｡これらが今に続く国際奨学事業の第一歩だったのでしょうか。両氏の論文や報告などが紹介され、また事業の主旨と経緯など、大変興味深く読むことができます。

シシミンの男（畑中氏撮影）

（会報72、75、77、79、82号など　大学女性協会→アーカイブ→会報バックナンバー→○○号で検索）

JAUW 新春のつどい

今年度も、恒例の“JAUW新春のつどい”を下記のように開催いたします。国内奨学金贈呈式は大学女性協会の重要な公益事業の一つです。未来を見据えた奨学生による希望と意欲あふれるスピーチの数々は私たち会員全員に大きな感動を与えてくれることと思います。今年度の懇親会には会員である仙台支部長にヴァイオリン演奏をお願いいたしました。会員の皆様、また会員外の方々もお誘いあわせの上、多数のご参加お待ちいたしております。

日　時　2016年1月9日（土）11：00～14：30
場　所　新宿　京王プラザホテル“花の間”
　　新宿区西新宿2-2-1　03-3344-0111
プログラム
　1部　2015年国内奨学金贈呈式
　2部　懇親会
　　ヴァイオリン演奏　渋谷由美子（仙台支部長）
　　ピアノ伴奏　ゲルテインガー祥子
　　会食、歓談
会　費　10,000円
申込先　（一社）大学女性協会　本部事務所
　　Tel：03-3358-2882　Fax：03-3358-2889
　　E-Mail：jauw@jauw.org
申込締切日　2015年12月20日（12月28日までにお振込みお願いいたします）
振込先　三菱東京 UFJ 銀行四谷支店
　　普通預金：口座番号1077777
　　別口　一般社団法人　大学女性協会　　理事　中村久瑠美
　　なおキャンセルは3日前までとさせていただきます。

今回も事業委員会のバザーをいたします。どうぞお楽しみに。
（一社）大学女性協会

第14回　自然科学講演会のお知らせ

「食と生命―その先端科学の現状と未来像」
講　　師　阿部啓子会員（科学研究奨励委員会委員）
東京大学 名誉教授・大学院農学生命科学研究科 特任教授
2007年日本農芸化学会賞受賞、2010年紫綬褒章受賞
日　　時　12月12日（土）14：00～16：00
場　　所　お茶の水女子大学共通講義棟2号館101室
申し込み　12月9日（水）までに JAUW 事務所へ

約100年前、鈴木梅太郎博士によるビタミンの発見、池田菊苗博士による旨味物質の発見は食の現代科学のプロローグとなり、生活習慣病予防の機能をもつ食品の開発、次世代機能性食品の研究、最新の遺伝子科学が取り入れられ始めた現状等、世界をリードするわが国の“食と生命”研究に魅せられた先生の現状と未来像を俯瞰したお話です。
科学研究奨励委員会（東京支部・お茶の水女子大学共催）

丸大食品

心に残る贈り物

≪丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます。≫
お歳暮・お中元の時期のほか、記念品・新築祝・開店祝
御礼・内祝・快気祝・各種景品等ご利用下さい。

丸大食品株式会社　東日本特販営業課　担当：山崎
〒135－0051　東京都江東区枝川2－23－2
TEL03(3647)3270　FAX03(3647)3274

お知らせ　事業委員会

・催し物
《第7回街歩き　ニコライ堂、湯島、東大校内 椿山荘》
　日　時：11月27日（金）10：30～
・観劇
能　「平家と能」　於 国立能楽堂
　日　時：11月28日（土）
雅楽「還城楽」「蘇莫者」他　於 東京オペラシティ
　日　時：2016年1月17日（日）
歌舞伎「小春穏沖津白波」尾上菊五郎　於国立大劇場
　日　時：2016年1月25日（月）
新派公演「遊女夕霧」「寺田屋お登勢」於国立大劇場
　　波乃久里子、水谷八重子
　日　時：2016年3月25日（金）
文楽　嶋太夫 引退公演の予定　2016年2月
＊詳細は JAUW 事務所までか Web サイトで。

事務所紹介

外谷さん　　寺尾さん

平日の10時～16時、事務所に出勤しております。近くにお越しの際にはどうぞお気軽にお立寄り下さい。

新入会員　理事会承認　2015年７月～10月

茨城支部	北村　篤子	設楽　詠子	田村　佳子
	中庭　陽子	山口　晶子	
東京支部	伊藤眞理子	枝吉多娓子	草野　裕子
	佐々木慶子		
神奈川支部	嶋田　君江	松田亜有子	
静岡支部	佐藤　成子	鈴木　久枝	
愛知支部	鈴木　絢子	鈴木　眞理	椴山　儀恵
京都支部	上原　恵美		
奈良支部	守田チヨミ		
神戸支部	宇野　蓉子	坂井　瑠実	
長崎支部	川元　幹子	中田　慶子	

訂正　会報255号4P　菊地麻耶子→菊池摩耶子

理事会から

- 2015年度一般奨学生、社会福祉奨学生、安井医学奨学生が選考され11月の理事会で承認されました。
- GWI第32回世界大会ケープタウン（2016年8月21日～26日）が開催されます。詳細については、P.5をご覧ください。
- （一社）大学女性協会創立70周年の記念事業を2016年11月12日（土）にグランドプリンスホテル国際館パミールで催行予定です。
- 丸大ハムのカタログを同封いたしました。ご協力をお願いいたします。

一般社団法人　大学女性協会
〒160－0017　東京都新宿区左門町11番地６－101
電　話　03－3358－2882　　ＦＡＸ　03－3358－2889
http://www.jauw.org　　E-mail：jauw@jauw.org
発行人　中村　久瑠美　　編集責任者　端本　和子
発行日　平成27年11月24日